

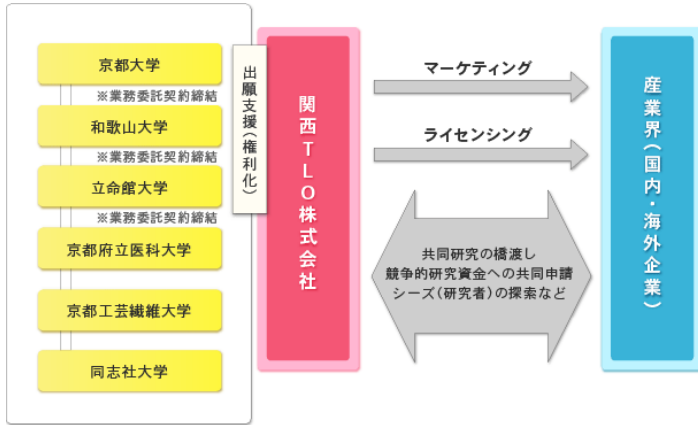
8. 創造的産学連携事業の事例

関西ティー・エル・オーの活動

- 関西TLOは、京都大学、立命館大学と知的財産マネジメントに関する包括的な連携関係を構築。
- 具体的には、業務受託契約を締結し、発明者への発明ヒアリング、発明評価(先行技術調査、プレマーケティングによる市場性価値調査)、発明評価レポートの作成、大学・公的研究機関等の発明委員会への報告、特許出願明細書作成支援、マーケティング活動まで、一貫した業務を実施。
- 上記業務を円滑に実施するため、京都大学内に関西TLO京都大学オフィスを設置し、関西TLOの職員が常駐。
- また、新たに和歌山大学と知的財産マネジメントに関する包括的な連携関係を構築。和歌山大学内にも関西TLO和歌山大学オフィスを設置。すでに具体的な産学連携の成果を獲得。
- さらに、平成21年度から京都府立医科大学の知的財産マネジメント・産学連携業務を一括して独占的に受託し、同大学の知的財産マネジメント・産学連携体制の整備に関西TLOが実施。

関西TLOが実施する広域的産学連携活動

関西TLOが手がけた和歌山大学と民間企業との産学連携の成果



お知らせ
Information

その他情報

2009/3/9
和歌山大学 河原教授「音声分析合成技術」が日経トレンドに掲載されました。

目指せ！明日のヒット商品「消費を生む先端技術」 機械っぽさをなくした音声分析合成技術

和歌山大学システム工学部 河原教授の「音声分析合成技術」(PCT出願番号:PCT/JP2008/63072[周波数信号処理方法、周波数変換方法、周波数処理装置および周波数信号の分析方法])が日経トレンド2009年3月号に掲載されました。

株式会社アニメは、河原先生と共同でこの技術を用いた製品を開発中です。これは関西TLOの仲介でライセンス契約を結んだものです。平成20年度NEDO大学発事業創出実用化研究開発事業に採択され(和歌山大学-㈱アニメ-関西TLO)共同開発を行って参りました。2009年3月に事業は終了し、製品は同年4月より販売開始予定です。

記事内容の研究ページはこちら
http://www.wakayama-u.ac.jp/~kawahara/STRAIGHTadv/index_j.html

出所: 関西ティー・エル・オーホームページ

8

9. 地域イノベーション創出研究開発事業 (21年度予算額65.1億円(20年度予算額63.2億円))

研究開発を起点とした新事業、新産業創出による地域経済の活性化を図るため、地域の資源を最適に組み合わせた研究体による実用化技術の研究開発を実施する。

・【研究開発期間】: 2年以内(1年以内の提案も可能)

・【募集区分、委託額】: (21年度)

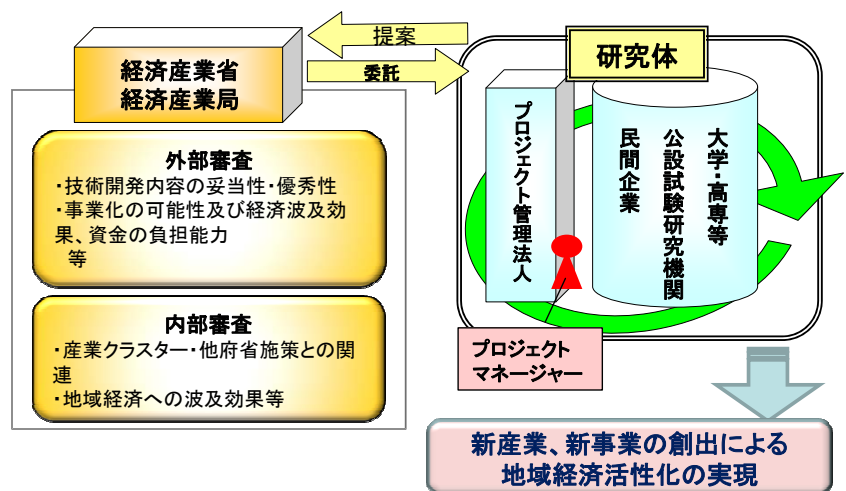
①一般型 (1年目:3千万円超~1億円以内 2年目:5千万円以内)

新製品開発を目指す実用化技術の研究開発支援を通じて、新たな需要を開拓し、地域の新産業・新事業の創出(農林水産事業に係るものを含む。)に貢献しうる製品等の開発。ブロック経済を超える程度に広域的にイノベーションを起こす可能性のある研究開発。

②地域資源活用型 (1年目:5百万円超~3千万円以内 2年目:2千万円以内)

地域に存在する資源(地域資源、地域技術等)を活用した、新製品の開発を目指す実用化技術の研究開発を通じて、新たな需要を開拓し、地域の新産業・新事業の創出(農林水産事業に係るものを含む。)に貢献しうる製品等の開発。県域を超えブロック経済にイノベーションを起こす可能性のある研究開発。

農工商連携に資する案件、産業クラスター計画関連案件及び他府省の研究開発制度等と連携した案件については優先的に支援。



事前評価時は補助金化により事業化率を向上させることを検討していた。しかし、技術力を有するが資金力に乏しい地方の企業の技術開発を支援するには委託費の方が適切と判断した。

また、事業化率を向上させるため、20年度から、プロジェクトごとに原則民間企業に所属するプロジェクトマネージャーを置き、事業化に向けた取組をプロジェクト終了後もフォローアップすることのできる体制とした。

9